



# CIRのつぶやき



国際理解教育・国際交流・  
国際協力・国際観光・多文化・  
相互理解と友好を図る



Facebook page :  
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

## 2021.01.01 第9号 知らなかったアメリカの12月!

皆様、アメリカの12月といえば、クリスマスでしょう、と思いますか? 「この話はもうよく分かるよ!」と思いきや、日本とは全く違うクリスマスの伝統や、クリスマス以外のホリデーもありますよ! この1年の締めくくりに、12月の独特な楽しみ、祝い方について学びましょう! ~ラブ国際交流員~

### 日本では知られていない クリスマスのお楽しみ

#### Eggnog(エッグノッグ)

クリスマスや冬に関連した独特な濃くて甘い飲み物。主な食材は玉子、牛乳若しくはクリーム、そして砂糖ですが、それ以外に加えるものも沢山あります。シナモン、ナツメグ、バニラ、クローブ等を加えることが多いです。また、ラムやバーボンを混ぜてお酒にする作り方も人気です。昔のイギリスから北米やオーストラリアへと渡り、今でも毎年の冬に飲む人が沢山います。



"Eggnog" by Dinner Table  
Licensed under CC BY 2.0  
<https://creativecommons.org/licenses/by/2.0/>



"Gingerbread house" by Marit & Toomas Hinnoaar  
Licensed under CC BY 2.0  
<https://creativecommons.org/licenses/by/2.0/>

#### Gingerbread House (ジンジャーブレッドハウス)

ジンジャーブレッド(生姜を使ったお菓子)で作られたお菓子の家です。固めのジンジャーブレッドを使って家の壁や屋根を作り、飾りにはカラフルなグミ、飴、マシュマロ等を使います。くっつけて完成させるには、糊のようにアイシングを使用します。クリスマスが終わったら、ハンマーで割って食べることもできます。この伝統の由来はドイツなので、日本語ではドイツ外来語の「ヘクセンハウス」(魔女の家)ともされています。

#### Yankee Swap(ヤンキースワップ)

プレゼント交換のちょっとずるいゲームです。参加者が全員1つのプレゼントを用意して、くじを引いて順番を決めます。1番から順次にプレゼントを1個取って開いて中身を皆に見せます。しかし、プレゼントを開いた時、中身が気に入らなければ、他の人のプレゼントと強制的に交換することができます。このように順番に進み、1番最後の人は、全員のプレゼントを交換できますので、とてもラッキーです。





# CIRのつぶやき



国際理解教育・国際交流・  
国際協力・国際観光・多文化・  
相互理解と友好を図る



Facebook page :  
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

2021.01.01 第9号 知らなかったアメリカの12月!

## 12月の他のホリデー

### Hanukkah(ハヌカー)

8日に渡るユダヤ教の祭日です。名前は、ヘブライ語で「ささげる」という意味の言葉から由来しています。英語では「Chanukah」ともされています。祝う期間はユダヤ歴に基づき、西暦では毎年異なりますが、11月下旬～12月下旬の8日間となります。

紀元前168～141年のマカバイ戦争でのエルサレム神殿奪回を記念します。奪回後、神殿を清める儀式に使うメノーラーという燭台を灯すためのオリーブオイルでできた聖油は、1日分しかありませんでしたが、奇跡が起きて8日間燃え続けました。

現在、ユダヤ教の方はハヌカーの間ハヌカーに使うメノーラーの蝋燭を日が経つ毎に1本灯します。メノーラーには9本の蝋燭がありますが、真ん中の1本は主の8本を灯すためのシャンマーシュという点火用の1本です。

ハヌカーの食べ物は、奇跡と繋がったオリーブオイルを使った揚げ物や揚げ菓子です。ポテトパンケーキのラトケやジャムドーナツのスフガーニーヤーが代表的です。

また、ドレイドルという4面のコマを使ったゲームがハヌカーの代表的な遊びとなっています。



"Hanukkah table" by MattKnight  
Licensed under CC BY-SA 3.0  
<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

様々なメノーラーとドレイドル



スフガーニーヤー

### Kwanzaa(クワンザ)

1966年に初めて行われたアフリカ文化を祝う、12月26日～1月1日の7日間に渡る行事です。創立者は大学教授のマウラナ・カレンガ博士で、アフリカ系アメリカ人がルーツを祝う機会を作るために提唱しました。クワンザという名前はスワヒリ語のマトウンダ・ヤ・クワンザ（初物の果実）からきます。

7日間の間、クワンザの7原則を順番に祝います。その7原則は、「結束、自己決定、集団作業と共同責任、協調経済、目的、創造性、信仰」となります。毎日キナラという7本の燭台の1本を灯します。真ん中の黒い1本はアフリカ系の方々、左側の赤い3本は血と独立への苦戦、右側の3本はアフリカ大陸の自然の富を表します。

習慣は様々ありますが、アフリカ民族衣装を着ること、果物や工芸品を飾ること、祝宴を催すこと等があります。文化的な祭事なので参加は自由で、宗教とは関係がないことからクワンザもクリスマスやハヌカー等も祝う人もいます。



キナラの蝋燭を灯す女性



クワンザの祝賀会 (中央：カレンガ博士)